

地域密着型通所介護「リハビリデイサービスまな」

運営推進会議 議事録【第17回】

日時：令和6年8月9日
16:30～ 開催

場所：リハビリデイサービスまな

ご利用者様
N様

高齢者総合センター

地域代表A様

管理者

市職員

ご家族様
欠席

◆議題

1. 利用状況について（R6年 7/31 現在）
利用者の年齢分布 男女比
介護度分布 等
2. まなのプログラム内容
 - ・レッドコードでの体操
 - ・マシントレーニングでの下肢の筋力増強
 - ・脳トレ、発声・口腔体操等
 - ・R5.12月より大人の教科書を利用しているの
回想法による脳トレを実施していたが、諸々の
事情により、5月で終了となった。
 - ・R6.2月より個別機能訓練を開始したが、好
評を得ている
 - ・体力測定（3ヶ月毎に実施）
3. 課題
 - ・猛暑や感染症の流行などによる、健康・体調管理の
確認と啓発
 - ・利用者同時、また利用者と職員の心理的距離が近い
ことが、トラブルの火種にもなり得る
 - ・利用登録者の確保による事業経営の安定化
 - ・地域との関わり方の再構築
4. ご意見・ご要望

◆議事内容

1.
 - ・2月よりは平均年齢が82歳から80歳へと低下。新規の
利用者が増えて、長く利用されていた方が少しずつ卒業さ
れている影響か。
 - ・直近の1年で新規の利用者は増加傾向。コロナ禍からの
回復が感じられる。
2.
 - ・「まな」の売り・特徴は何か？と問われた時の答えとして、
理学療法士が常駐し、非常勤でも月に1週間程度は理学療
法士が来るので、2人体制での機能訓練も実施している。
運動に特化していて、全身の運動ができるため、男性やフ
レイルの方、介護保険サービス利用の入り口として利用を
検討している方には推薦できる。
 - ・運動をしたい、と希望される近隣住民の方には、お勧めし
やすいデイサービスであり、地域には浸透しているよう
である。
3.
 - ・避難訓練に地域住民の方に参加してもらうなどの方法によ
り地域との関わりを持てると良い。BCPも絡めて、非常
災害時の事業所の対策・対応を地域と共有しておけると、
BCPを運用する際に効果が発揮しやすいのではないかと
思う。
 - ・利用者同士が意見の相違などから、トラブルになることは
他の事業所でもあることだが、対応を誤らないように注意
を払う必要がある。

等